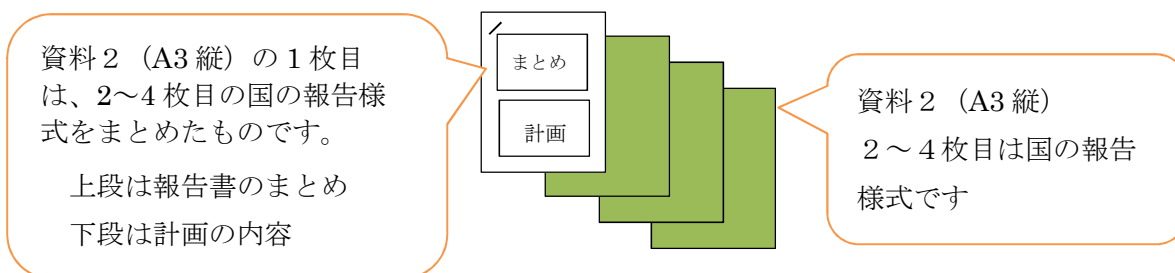


## ○地方創生推進交付金事業実績報告（広域連携分）

※資料 2 を一緒にご覧ください。



### 事業名

「筑後川上流域の森林空間・森林資源を活用した、域内経済循環を高める自立・広域的産業クラスターの形成」（5 か年事業）

### 事業について

筑後川上流域に位置する日田市、うきは市の共通の地域資源である、森林空間と森林資源の特色を活かし、第 1 次産業から第 3 次産業に至る関連産業による新たな産業クラスターの形成を目指し、日田市、うきは市が連携して林業関連事業に取り組むものです。（平成 29 年度は 5 年間の事業計画の 2 年目）

### KPI について

うきは市との合同で設定した KPI のうち、木材・木製品出荷額（家具を除く）については、平成 28 年の目標値 20,350 百万円に対し 20,492 百万円の実績となっています。（H29 年実績は平成 29 年工業統計調査において現在集計中）新規林業就業者は、目標値 28 人に対し、前年比 22 人増の 43 人の実績となっています。また、新商品の開発については目標値 2 件に対し、4 件の実績となっています。

### 効果について

日田市の新規林業就業者数は、平成 28 年度の 12 人から平成 29 年度は 26 人と大きく増えており、累計数での KPI 達成に大きく貢献しています。この交付金を活用した取組としては、公共的施設等の木質化の推進や、木育講演会の開催、木製品の新品開発の取組が進められたことから、事業効果については「①地方創生に非常に効果的であった」と評価しています。

### 事業の自立性について

日田市及びうきは市の両市のこれまでの林業・木材産業関連事業の取組や予算規模等が異なり、事業の効果が画一的に林業・木材産業全体に及ぶには時間を要すると思われるが、雇用の創出が自立的に展開されていることから、自立化の見込みについては「①あり（自主財源による自立）」とし、自立化の進捗については「②見込みどおり自主財源等確保」としています。

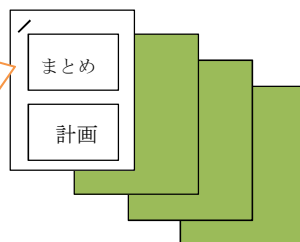
※裏面があります。

## ○地方創生推進交付金事業実績報告（市単独分）

※資料3を一緒にご覧ください。

資料3（A3縦）の1枚目は、2～4枚目の国の報告様式をまとめたものです。

上段は報告書のまとめ  
下段は計画の内容



資料3（A3縦）  
2～4枚目は国の報告様式です

### 事業名

「ジビエでつなぐ森とまち「ひたジビエ」ブランド化事業」（3か年事業）

### 事業について

野生鳥獣による農林産物被害の軽減を目的として捕獲対策を推進するとともに、その結果得られる野生鳥獣肉の商品化と戦略的な販売体制を構築することで、獣肉の地域特産品としての認知度の向上と安定的な収入の確保を図り、獣肉処理施設の経営の安定化と雇用の創出、地域経済の浮揚を図るものです。（平成29年度は3年間の事業計画の2年目）

### KPIについて

KPIはイノシシ・シカによる農林産物被害額の軽減、獣肉販売数量を掲げており、いずれも前年より改善し、目標を達成となっています。

### 効果について

交付金事業を活用した事業の推進により、平成29年度の獣肉処理施設処理頭数は157頭と前年から55頭増加しており、平成29年度の獣肉の販売数量実績は2,129kgと前年度より1,114kg増加しています。また、販売促進対策として、「日田市ジビエ体感ツアー」や福岡の飲食店とタイアップした「ひたジビエメニューキャンペーン」、FMラジオとのコラボ企画による試食会等により、福岡都市圏でのひたジビエ認知度の向上を図りました。日田市内においては、高校生を対象としたジビエの創作料理コンテスト「ひたジビエ レシピグランプリ」の開催やグランプリ作品のレシピを活用した小中学校給食の提供など、小学生から高校生、その関係者等の多くの方々にひたジビエの周知と市内での認知度の向上が図れたものと考えていることから、事業効果について「①地方創生に非常に効果があった」と評価しています。

### 事業の自立性について

処理頭数及び販売数量の増加は、この事業の目的である安定的な収入の確保や施設の経営の安定化に向けて進行していることであるため、自立化の見込みについては「①あり（自主財源による自立）」とし、自立化の進捗については「②見込みどおり自主財源等確保」としています。